新しい地方経済・生活環境創生交付金関連事業について

現在、松田町における地方創生の実現に向け新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル田園都市国家構想交付金から改称)を活用して令和7年度以降取り組んでいく事業に関する事業概要及び目標指標は以下のとおりです。

1. AI を活用したオンデマンド交通サービス推進事業 (R5~R7)

本地域に AI オンデマンド交通 (のるーと足柄) を実装し、公共交通網を最適化することで、高齢者等の移動に係る課題解決や子育て世帯の利用促進を図るもの。

KPI 一覧:

①AI オンデマンド交	②AI オンデマンド交	③乗降ポイントの設
通の会員数	通の利用者数	置数

2. スポーツツーリズム推進拠点整備事業 (R7~R9)

寄自然休養村管理センターをリニューアルし、寄地区を訪れるスポーツ団体、観光客の受入環境を整え、スポーツツーリズム及び観光振興の拠点としての機能を復活させ、また周辺施設として一体的に運営しているスポーツ施設の整備を行い、新たな需要を呼び起こしていく。

KPI 一覧:

①寄地区の観光	②センター利用	③寄地区の観光	④スポーツ施設	⑤寄地区内の新
消費額	者数	客数	の利用者数	雇用者数

3. 窓口キャッシュレス化事業 (R7)

役場窓口での支払い方法が現金のみの取り扱いだったことから、窓口における支払いをキャッシュレス化することで、利便性を向上させる。

KPI 一覧:

①窓口のキャッシュ	②サービスの満足度
レス比率	

4.『使える英語力を!』オンライン英会話教育事業(R7)

グローバル化が急速に進展するなか、学校での英語教育では、実際に英語を話す場が少なく、「使える英会話」の育成が課題となっている。そこで、マンツーマンのオンライン英会話レッスンを実施することにより、英語による実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。

KPI 一覧:

①生徒一人あたりのオンラ	②オンライン英会話の
イン英会話実施回数	満足度

5.「食事」、「衛生」、「電気」の充実による快適避難所環境創出事業 (R7 (R6 補正))

避難所における、食事、衛生、電気の充実により、より快適に過ごすことができる避難所 を創設し、有事に備えるもの。

- ①食事環境の充実⇒松田小学校を災害時のセントラルキッチンとして炊事能力を強化し、 各避難所へ温食を配布できる体制を整備。平時は給食用設備などとし て活用。
- ②衛生環境の充実→災害時の衛生環境を向上させるため、移動可能な簡易トイレ・シャワーを購入。平時は観光施設等に設置。
- ③電気設備の充実→停電時の非常電源として活用できる非常用電源及び電気自動車並び に避難所用の冷暖房機器等を購入予定。平時は、公用車として、また 学校施設備品として活用します。

KPI 一覧:

①炊事設備の炊	②簡易トイレ及	③電源等の確保	④防災の取り組	⑤72 時間以内に
飯能力	びトイレカー		みに関する町	温かい食事の
	の台数		民の認知度	提供を見込む
				避難所数

事業概要【AIを活用したオンデマンド交通サービス推進事業】

申請者	神奈川県松田町							初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度							引中の総事業費 1内はR7年度事業費)	121,384千円 (27,128千円)	
経費の類型	ソフト 事業	V	拠点整 備事業		インフラ 整備事業			事業分野	まちづくり分野	
目的(効果)	子育て世・このことに	 AI技術を活用した、新たな交通サービスを導入することにより、運転免許証の返納などにより移動手段が必要な高齢者をはじめ、 子育て世帯などすべての世帯が、より便利で快適な移動環境を構築する。 このことにより、外出の機会が創出され、地域コミュニティが活性化することや、地域の活力の向上を図る。 更には、マイカー依存からの転換を促進することにより、交通渋滞の緩和やゼロカーボンシティの取組を推進する。 								
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 〇新モビリティサービス推進事業費 地域の住民・企業等を主体とした組織に対し、AIオンデマンド交通で証実験の実施に係る総合的な管理・運営を委託する。なお、対象については、運行エリア拡大分とする。また、実証実験3年間の利用績の分析を行い、2026年10月からの開始を予定している本格運行向けた最適な運行形態についての検討を行う。・AIオンデマンド交通の実証実験環境構築及び運行に係る費用16,000千円・AIオンデマンド交通実証実験に係る利用実績の分析、本格運行けた運行計画の検討8,000千円 〇協議体運営費運行内容等の精査・意思決定を行うための協議体運営費。・委員報償、費用弁償、消耗品費、通信運搬費など128千円								ATUR.	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	○車両改装費 3,000千円①AIオンデマンド交通の会員数(+3,200人)②AIオンデマンド交通の利用者数(+120,000)③乗降ポイントの設置数(+300箇所)						()	関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.j p/site/chihousousei/	

_1

事業概要【スポーツツーリズム推進拠点整備事業】

申請者	神奈川県松田町							初回採択回	令和 7	年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度							引中の総事業費 1内はR7年度事業費)		76千円 ,366千円)	
経費の類型	ソフト 事業	V	拠点整 備事業	V	インフラ 整備事業			事業分野	観光分	野	
目的(効果)	・松田町寄(やどりき)地区にある観光交流拠点施記地区を訪れるスポーツ団体、観光客の受入環境を整振興の拠点としての機能を復活させ、寄地区全体の・併せて、周辺施設として一体的に運営しているスポー行うことで、新たなスポーツ需要を呼び起こすことスポー						き整え、 の観光 ペーツ施	「寄・里の駅」とし 光消費額の増加 設(みやま運動	/て、改めて/ を図る。 カ広場、寄え	スポーツツーリズム及び スコート)の周辺整	観光
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【拠点整備事業経費】 ○寄・里の駅整備 ・施設のリニューアル 176,520千円 ・駐車場整備 60,130千円 ○みやま運動広場周辺整備 ・屋外トイレ改築、ネットフェンス設置、3on3コート整備 92,923千円 【ソフト事業経費】 ○誘客促進事業 7,480千円 ○新たなスポーツの受入環境検討 2,953千円 ○拠点機能構築事業 3,360千円					ě 備	→現在の 寄自然休養村管理センター 人工芝生化した 寄みやま運動広場→		ンター		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①寄地区の観光消費額(+199,000千円) ②センター利用者数(+2,530人) ③寄地区の観光客数(+87,100人) ④スポーツ施設の利用者数(+27,400人) ⑤寄地区内の新雇用者数(120人)							関連URL		wn.matsuda.kanaga housousei/	wa.j

事業概要 【窓口キャッシュレス化事業】

		i						
自治体名	神奈川県松田町	人口	10,266人	事業費	386千円			
事業概要	窓口での支払い方法が、現金のみの取り扱いとなっていることから、町民の支払い方法の多様性を狭めており、不便であり、また、現金を取り扱うことから、お釣りなどの窓口での対応に要する時間が多くなり、窓口が混雑する要因となっていることから、窓口のキャッシュレス化により、支払い方法を選択する余地を与え、町民への支払いの利便性を向上させ、かつキャッシュレス化による1会計あたりの時間を短縮することにより、混雑する要因を取り除くことを目的とする。							
具体サービス	【キャッシュレスサービス】 ・stera terminal(決済代行会社から …クレジット・電子マネー・QRの主要キャッ 済を全て一台の端末で行うことが可能。 ***********************************	ッシュレス決	お客様向けディスプレイ *15.760 ************************************		25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年			
主な KPI	【アウトプット指標 (活動指標)】 ①窓口のキャッシュレス比率 ② ③		【アウトカム指標(50 ①サービスの満足度 ② ③					

事業概要【『使える英語力を!』オンライン英会話教育事業】

自治体名	神奈川県松田町	人口	10,266人	事業費	4,573千円
事業概要	グローバル化が急速に進展するなか、学の育成が課題のひとつとなっている。また、れる。そこで、現在の英語教育をベースとる実践的なコミュニケーション能力を伸ば	町の資源のひしたマンツーマ:	とつである桜まつり等の ンのオンライン英会話I	のイベントには多 ノッスンを実施す	くのインバウンド客が訪 ることにより、英語によ
具体 サービス	文部科学省のGIGAスケール構想により 人 1 台端末を活用し、フィリピン現地講師マンでのオンライン英会話レッスンを行う。 ・対象 町内中学校の全生徒 220名 ※希望がある場合は、放課後に親子では 能。 ・基本的には英語の授業時間内で実施間は30分)し、英語担当教員とALTが ・年間6回程度のレッスンを実施。レッス 基本的に各学年の教科書等に準じて行	でマンツー の受講も可 (レッスン時 サポートする。 ン内容は、	I WITH MI	オンラインによる ーマンの英会話レ	
主な KPI	【アウトプット指標(活動指標)】 ①生徒一人あたりのオンライン英会話実	施回数	【アウトカム指標(反 ①オンライン英会話		

事業概要(「食事」、「衛生」、「電気」の充実による快適避難所環境創出事業)

自治体名	神奈川県松田町	人口	10,251人	事業費	64,300千円				
事業概要	▶「食事環境の充実」避難所となる学校施設にて、炊き出しに必要となる資機材(炊飯設備等)を購入。 平時は給食用設備として活用。▶「衛生環境の充実」移動可能なトイレを平時は観光拠点に設置、災害時に避難所のトイレとして活用。▶「電気設備の充実」停電時の非常電源として活用できる非常用電源等を購入。平時は、バックアップ用。								
購入する 資機材等の 内容	「食事環境の充実」 ・炊飯設備 2台 320万円 ・洗米機 1台 190万円 ・食料運搬車 1台 1150万円 ・冷凍庫 1台 79万円 ・タープテント 8張 161万円 「衛生環境の充実」 ・簡易トイレ 4台 760万円 ・トイレカー 1台 1150万円 ・シャワーコンテナ 1台 1100万円 「電気設備の充実」 ・大容量ポータブル電源 2台 188万3・電気自動車(EV、PHEV) 1台 6・バルーンライト 12台 309万6千円・バルーンライト 15台 210万円・スポットクーラー 15台 178万5千円・スポットクーラー 15台 178万5千円・	• •	不足に対応 孤立した場合に対処 寄小学校避難所(孤立地域) 各避難所に配送 キントラルキッチンの確立 提携輸送会社						
主なKPI	【アウトプット指標(活動指標)※- ①炊事設備の炊飯能力 ②簡易トイレ及びトイレカーの台数 ③電源等の確保	一つ以上】	【アウトカム指標(原 ①防災の取り組みに ②72時間以内に温	関する町民の詞	忍知度				